

## 終業式 校長挨拶

おはようございます。

まず初めに皆さんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。

「いつも挨拶してくれてありがとうございます。」

特に、朝、校長室を通りかかりながら声をかけていただき大変元気もらっています。

3年前から徐々に増えていき、今は大変多くの皆さんに声をかけてもらっています。いつまで続きますかね等と揶揄されることもありましたが、私には毎日の日課の一つとなっていていすので、皆さんとの挨拶が毎朝の楽しみにもなっています。

また、可能な限り出会った皆さんとは声を掛け合うようにしています。皆さんが来校者の方々にも気軽に声をかけてくれている様子を伺うことがあり、大変うれしく思う瞬間です。

強制された無理やりからの不自然な挨拶はお互い気持ちいいものではありません。自然体で、声をかけられるときに自然と声をかけることから始めてもいいのだと思います。皆さんの毎日の学校生活に少しでも前向きな気持ちが芽生えたときに、ふと声を発してみてください。誰もがまず一步を踏み出す機会にしていいただければ幸いです。

「これからもお互い挨拶は大切にしていきたいと思います。」

さて、このように一つのことでも心がけることで大変大きな変化をもたらすことがあります。「凡事徹底」という言葉があるように、何か一つでも、当たり前のことを当たり前誰よりも徹底して繰り返すことでとてつもない成果を生み出すことがあります。

3年生は是非その成果を自分の糧として積み上げられるよう、最後まであきらめずに努力を続けてほしいと思います。そのためには何よりも「自分を信じること」が大切です。

ところで、私がかねてより、皆さんの学習や活動の成果発表の場を少しでも多く設けたいと思っていました。文化活動発表会もその一環です。

今年、1年生は英語学習によるレシテーションコンテストを行い、学校説明会の席で中学生にもスピーキング披露してもらいました。

今日は昨日行われた、2年生の探求学習の成果発表をこの後、行ってもらえることになりました。新しい気づきへの扉を開く試みを是非、お聞きください。

そのために、私からの挨拶はこれで終わりにしたいと思います。

令和6年12月25日 高取克明